

# 京都ものがたり



## 夢ふくらむ図書館に



### 目次

インタビュー	2
京都市子ども文庫連絡会代表 岩永ひとみさん 読み聞かせで子どもに愛情を	
図書館小特集	3
本が泣いています	
特集	4~5
図書館の雑学あれこれ	
京都市図書館紹介	6~7
洛西図書館、向島図書館	
図書館コラム	6
図書館とまんが	
お知らせ	7
「地域教育フォーラム・イン京都」を開催 久世ふれあいセンター図書館で 第4回「読み聞かせ講座」を実施	
利用者の声	8
編集後記	8
図書館の新しい楽しみ方	

# 読み聞かせで子どもに愛情を

京都市子ども文庫連絡会代表  
こどもみらい館よみきかせボランティアリーダー

岩永 ひとみさん

自宅ではかみふうせん文庫を主宰し、京都市子ども文庫連絡会代表、3男1女の母親、昨年まで「京都市子ども読書活動振興市民会議」の委員をされていた岩永ひとみさんに絵本の読み聞かせの意義や重要性について語っていただきました。

## ■学校での朝読書に参加して

私は今、地域の小学校1年生に、週2回朝読書の時間を頂いて読み聞かせをしています。本を選ぶ時は、今子どもたちが教科書で習っていることや行事・生活にちなんだことなど身近で興味を持ちやすいテーマになるよう工夫しています。例えば、教室でヤモリを飼っているとしたら、まず、ヤモリの仲間が主人公のお話の本を読み、次にヤモリの生態や飼い方の載っている本や爬虫類図鑑などを紹介します。そういう本を図書館でどう探すかについても話します。また遠足で動物園に行く時には、「爬虫類館に仲間がいるから本物を見てきてね。」と声をかけています。子どもは私たちが行くのを楽しみに待つてくれているようで、玄関まで迎えに来てくれます。本を読み始めると目を輝かせて聞き入ってくれますし、クラス中で盛りあがって笑いの渦になることもあります。私自身もとても楽しく、やりがいを感じています。おはなしを聞いて「あー ゆめしきかった」「もっと聞きたい」と思う心が、読みたいという心に通じ、読む努力を生み出すように思います。小学生になっていても、ぜひ身近な大人が読んでもらってほしと願っています。

## ■赤ちゃんからの読み聞かせ

京都市は、今年の10月から全保健所で、8ヶ月検診時に、絵本との出会いをサポートする「絵本ふれあい事業」を始めました。絵本は、お母さんから赤ちゃんへのことばかけを多くし、一才前後の赤ちゃんでも表情やしぐさ、囁語でそれに応えようとします。絵本は赤ちゃんとお母さんとの「ミニコニケーション」を育み、赤ちゃんの心とじとばの健やかな発達を促します。おっぱいをやりながらテレビを見たり、おむつをかえながら音楽を聞いたりはできます。でも絵本を読みながら何かするということは不可能です。幼い子どもにとって絵本を読んでもらう時間は、お母さんが全身全霊で自分に向きあってくれる「至福の時」なのです。その幸福な体験が積み重なることによって「自分は親から愛されている、かけがえのない存在だ」と思える自尊感情が育ちます。自分自身が好きで大切だと思えてはじめて、他人を思いやる心が育つのではないかと感じます。幼い子どもほど親に読んでほしいのです。膝に抱いて肉声で（できれば一対一で）読んであげてください。



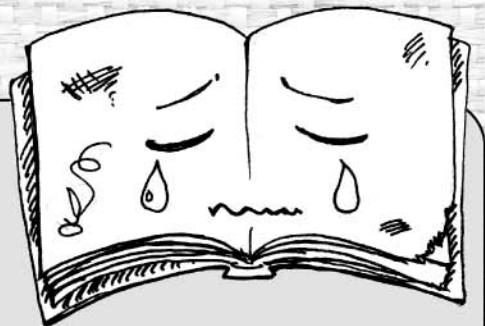
読み聞かせの大切さを語る岩永代表

## ■マトリョーシカ人形に思ふこと

人間はロシアの民族玩具マトリョーシカ人形のようです。成長するにしたがつて違う人間になるのではなく、乳幼児期の私が核となって、それを少年期の私が覆い、その上に思春期、青年期そして大人の私がいるのだと思います。マトリョーシカ人形の中はみなくり抜かれているのですが、一番中心の一番小さい人形だけ中身が詰まっています。人間でいえば乳幼児期に人格の核となる部分に、親が何を話めてやれるかがその後の人格形成にとっても重要だと思います。私は子どもたちのこの核となる部分に、人間への信頼や愛、見えないものを信ずる力といった温かな血のかよったものをいっぱいいっぱい詰めてやってほしいと願っています。親子で、絵本を楽しむことはその願いをかなえるための一冊身近で誰もができる有効な方法の一つだと思いました。中心が温かければ、外の風がどんなに冷たくても、人生の長い道程を歩み続けることができるでしょうから。

# 本が泣いています

食べこぼしのついた本、書き込みや落書きのある本、ページが切り取られた雑誌……。このような本や雑誌に出会ったことはありませんか？手に取った本がこんなふうだったら、いやな気分になりますね。こんなとき、本も泣いています。



もちろん、本は長く使われるうちに、だんだんと汚れたり、傷んだりします。図書館の職員が何回か修理をしても、最後には使えなくなりますが、こんな本は、たくさん読んでもらって、幸せな一生を送った本です。

逆に、悲しい運命をたどる本もあります。食べたり飲んだりしながら本を読み、汚してしまう。あたかも自分の本のように、書き込みや落書きをする。気に入ったページが欲しくなって、切り取ってしまう。図書館の本がみんなのものだということを忘れて、こんなマナー違反をすると、次にその本を読みたい人が困ってしまいます。そしてひどいときには、その本が、もう使えなくなってしまうのです。実は、そんな本が少なくないのです。



図書館の本を読むとき、次にその本を読む人のことを考えてください。そして、たくさんの本に幸せな一生を送らせてほしいと思います。

★図書館ではどんな本がよく読まれているの？(平成16年度上半期)

【一般書】

- 1位 「模倣犯」 上 宮部 みゆき著(小学館)  
2位 「模倣犯」 下 宮部 みゆき著(小学館)  
3位 「誰か」 宮部 みゆき著(実業之日本社)  
4位 「蹴りたい背中」 締矢 りさ著(河出書房新社)  
5位 「半落ち」 横山 秀夫著(講談社)

一般書では宮部みゆきさんの本が人気です。

★来館者の多い曜日はいつ？

- 1 土曜日  
2 日曜日  
3 閉館日明けの水曜日か木曜日

日曜日よりも土曜日の利用が多いのは意外ですね。逆に中央図書館で比較的空いていると感じるのは金曜日の夜です。

# 図書館にはこんな本もありますよ！

「**雍州府志**」[京都コーナー書庫、貸出不可、中央図書館で閲覧可]  
黒川 道祐著

山城国（現京都府南部）を中国の雍州（中国、唐代の首都長安の州名）になぞらえ、地理や風土、商工業などをまとめた地誌。初版は江戸時代。図書館では写真の和綴じ本のほか、「新修京都叢書第10巻」に収録されているものなどを所蔵しています。



古い本



三角形の本

「**言いまつがい**」[一般]  
糸井 重里 監修  
(東京糸井重里事務所)

角が丸く、上辺が斜めにカットされています。



面白い形の本

「**モダン・マン**」[一般]  
フローラン・ダバディー著 (祥伝社)  
四角いケースに収まっているので一見したところ三角形だとは気付きません。



「**まさかさま**」[児童]  
伊藤 文人 作 (新風舎)

さかざ絵の本

「**祇園祭山鉾絵図**」[京都コーナー書庫、貸出不可、中央図書館で閲覧可]  
西脇 友一著 (京都名所行事絵図刊行会)



山鉾がそれぞれ色鮮やかに細かく描かれています。  
(帙入、1枚もの)  
サイズ  
縦65cm×横54cm

大きい本



さかさまにすると全く違う絵に見えます。不思議！  
(この本はシリーズになっており、その1からその5まであります。)



穴あきしきけ絵本

## しおりがたくさんある本

「**愛だからいいのよ**」[一般]  
内田 春菊 著 (講談社)

表紙写真の髪の色に合わせたしおりが12本ついています。最初見たときはびっくり！(表紙の色はこの写真のブロンド以外にホワイト、ブラック、ブラウンが出版されています。)



前からも後からも読める本

「**かわいいてんとうむし**」[児童]  
メラニー・ガース 文  
(大日本絵画)

てんとうむしが立体的なので、面白くてつい何度もページをめくってしまいます。

# 図書館の雑学 あれこれ

★ブックメールで1日どれくらいの本が移動しているの？

平成16年9月 平均2,236冊

京都市図書館（全20館）では予約された本や他館に返却された本を車で搬送しています。（通常週に5日）

★図書館ではどんな本がよく読まれているの？  
(平成16年度上半期)

【児童書】

- 1位 「かいつけつゾロリのおばけ大さくせん」  
原 ゆたか (ポプラ社)  
2位 「かいつけつゾロリのテレビゲームききいっぱい」  
原 ゆたか (ポプラ社)  
3位 「かいつけつゾロリちきゅうさいごの日」  
原 ゆたか (ポプラ社)  
4位 「ハリー・ポッターと炎のゴブレット」  
J・K・ローリング (静山社)  
5位 「ハリー・ポッターとアズカバンの囚人」  
J・K・ローリング (静山社)

児童書では「かいつけつゾロリ」シリーズと「ハリーポッター」シリーズが根強い人気です。

★今年一番利用者多かった日はいつ？  
どれくらい貸出があるの？

【平成16年度上半期  
(中央図書館)】  
8月11日 (水)  
来館者数 2,593人  
貸出人数 1,102人  
貸出冊数 4,084冊

夏休みは他の期間より多くの方が来館されます。子どもたちもいっぱいにぎやかです。

Web上への掲載は許可されていません

「**やまからにげてきた・ゴミをぱいぱい**」[児童]  
田島 征三 作 (童心社)  
前からでも後からでもちゃんとお話しになっている絵本です。



13

## 洛西図書館

### 地域の皆様の身近な生涯学習の場として

「図書館」と「洛西ニュータウン」  
緑豊かな西山連山など自然に恵まれた環境の  
洛西ニュータウンの地に、昭和62年4月「洛西  
総合庁舎」の1階に西京区では2番目の図書館  
として開館しました。

京都市ではじめて誕生した大規模住宅団地「洛

西ニュータウン」は、自然環境の調和した緑豊  
かな「まち」として造られました。緑に恵まれ  
たこの地域は京都盆地の中でも最も古くから人々  
が生活を始めた地の一つといわれており、太古  
より豊かな歴史と伝承を数多く秘めています。

「洛西ニュータウン」と「竹」  
古くから全国的に有名な竹の産地「大枝・大  
原野」の地にあり、当館ではユニークな「竹コ  
ーナー」の図書特設コーナーを設け、竹に関する  
図書の展示・貸出をおこなっています。



されています。また、美しい自然を背景に日本人に親しまれているかぐや姫で有名な日本最古の物語「竹取物語」の舞台ではないかといわれるなど、数多くの文学作品の舞台として取り上げられています。

### “たけのこ島”と図書館行事

「たけのこ島」は、開館3周年を記念して「幼児コーナー」「たけのこ島」の愛称名を募集し名付けられ、図書館行事をはじめ小さなお子さんや親子の場として広く使われています。

図書館行事「お楽しみ会」は、定期的に毎月第3土曜日午後3時30分から紙芝居・絵本の読み聞かせ・折り紙・工作や「親と子の交通安全教室」など、親子で気軽に来館していただけるよう工夫した行事や、月ごとにテーマ図書の展示・貸出をおこなっています。

### これからも

昨年から祝日開館・平日夜間開館を実施し、利用者の皆様に大変ご好評をいただいています。

今後も皆様の身近な生涯学習の場として、地域の皆様と共に日々歩む「魅力に満ちた洛西図書館」を目指し取組を進めたいと思います。皆様のご来館をお待ちしています。



## 図書館とまんが

「まんが」というと、みなさんはどんなイメージを持たれるでしょうか。「まんがなんて子ども向けの低俗なもの」なんて思っている人も少なくないのではないかでしょう。

今、世間では、この「まんが」が大きくクローズアップされています。昨年、宮崎駿監督制作のアニメ映画「千と千尋の神隠し」が

アカデミー賞を受賞したことに象徴されるように、日本のアニメ・まんがは世界で高い評価を受けています。今や「MANGA」は世界共通語だとか…。日本を代表する文化・産業の一つとして「まんが」「アニメ」は内外に広く認知されつつあるようです。

さて、そこで、図書館にはどのぐらい「まんが」があるでしょうか。「図書館にまんがなんてあるの?」と思つている人はいませんか。あります。京都市図書館が現在所蔵している「まんが」は全館あわせて約一万二千冊。全体の蔵書冊数に占める割合は約0.8パーセントになります。一昔前は、そもそも公共図書館に「まんが」を置くべきかどうかということについて喧々諤々の議論がなされた時代がありました。現在では多くの図書館が「まんが」を所蔵していますが、限られたスペースと予算の中でどこまで「まんが」の所蔵枠を拡大するか、ということになると、なかなか難しい問題です。

この秋、京都市では、全国唯一の「マンガ学科」を有する京都精華大学との共同事業として「京都国際マンガミュージアム(仮称)」を開設する構想を発表しました。日本最多の二十三万点のまんが資料を有し、まんがの研究・人材育成・学習・収集・展示等の機能を備えた日本初の総合施設が平成18年、京都に誕生します。おおいに期待したいものです。



14

## 向島図書館 地域の皆様と共に歩んで

### 向島ニュータウン

向島ニュータウンは、もとの「巨椋池」の一帯に位置しています。「巨椋池」は、古代より宇治川、木津川、桂川が合流して淀川となり、大阪湾にそそぐ水量調整の役割を果たす遊水池として、時には「月の名所」として、ある時は洪水にみまわれるなど大自然の営みの中にありました。

そして、ついにその「巨椋池」は、昭和16年に食糧増産のための農地として干拓されました。さらに、戦後の高度経済成長期にニュータウン化計画の対象となり、まず、昭和52年に2街区が建設され、初めて人々が入居するようになりました。平成2年には11街区建設が完了しました。

※資料「わが街むかいじま」（街史編集委員会）

### 向島図書館

向島図書館は、昭和61年3月に向島ニュー

タウンの中に開館しました。

近鉄京都線「向島」

駅から東へ徒歩5分の位置に向島図書館があり、図書館の南側には緑豊かな中央公園があ



ります。くちなしの花など色とりどりの花、ウグイスなど小鳥のさえずり、蝉の鳴声、紅葉……四季の移り変わりを楽しみながら図書館に通うことができます。

### 出会い・触れ合いを大切に

「職員の皆さんの日頃の親切・丁寧な対応ありがとうございます」と来館者の皆さんから挨拶を受け、心からうれしいと思っています。感謝の言葉は、人と人がつながって生きる大切な言葉ですし、連帯感が生まれます。

夏休みに小3生から「：見学させてください」という手紙をもらいました。こんなにやさしい少年がいると思つと希望が湧いてきます。来館者の皆さんとの出会い・触れ合いを大切にして、図書館業務に励みたいと思います。

### 向島図書館の行事

毎月、左記の行事を行っています。

- ・絵のひろば （例）秋の作品展
- ・絵本特別展 （例）「ともだち」
- ・おたのしみ会 （例）パネルシアター
- ・赤ちゃん絵本の読み聞かせの会（隔月）

## 久世ふれあいセンター図書館 で第4回「読み聞かせ講座」 を実施

11月19日、図書館職員及び地域や学校等で活動するボランティアの読み聞かせなどの資質・技術向上を図るために、久世ふれあいセンター図書館で第4回「読み聞かせ講座」を実施しました。図書館司書職員が、日頃の体験をもとに、読み聞かせをする際に注意している点や効果的な読み方について実践報告をしたのち、受講者に実演してもらいました。当日は大勢の方が受講に来られ、大変盛況でした。これをきっかけに読み聞かせが広がり、本好きの子どもがたくさん育つてくれればと願っています。



## 「地域教育フォーラム・イン京都」を開催

8月10日、新たな教育の創造に向けた実践研究の成果を全国に発信する場として、第6回「地域教育フォーラム・イン京都」が開催されました。今回初めて参加した

中央図書館は、青少年科学センターと共に、「みんなで創ろう子育ち環境～本大好き、理科大好き～」をテーマに分科会を企画運営しました。分科会には、学校の先生や保護者の方々など全国から約400名の参加がありました。学校・地域での実践の発表や読書・理科の関係者を交えたパネルディスカッションを行い、学校・家庭・地域が連携した子育ち環境づくりへの有意義な提言の場となりました。

# 声

## 利用者の声

● 山科区 狐野やよいさん 主婦

まず家に本があった。でも初めて読んだ物語は、小学校の図書室の本だ。そして優しい先生がいた。今も私にとつて図書館は、本からあふれる世界が満ち満ちていて、いるだけで楽しい。その空間をより快適してくれるのが図書館員の人達だ。コンピュータでみつからない本でも、司書の人のレファレンスを受けると、魔法のようにあらわれる。

図書館は「人と本が出会う場」であるのももちろん、「人と人がふれあう場」もある。

● 左京区 井上恵利さん 公務員

「あ、来週はこじか号来はるな。」こじか号とは移動図書館の愛称です。積雪の1・2月を除く毎月第2水曜日の移動図書の日を心待ちにする生活は、もう十年目にに入りました。

幼い頃は文字の少ない絵本ばかり借りていた息子も中学生になり、スター・ウォーズの本や歴史人物を題材にしたものなどジャンルがずい分変化してきました。小2の娘も毎月10冊どつさりと借りて楽しんでおります。

移動図書の方々のおかげで、皆多くの本と出会うことができ、心から感謝致しております。これからもよろしくお願いします。

● 伏見区 強 恵子さん 学生

私は、小学生の時から自宅から自転車で5分ぐらいの距離にある久我のもり図書館を利用させて頂いています。今では以前より、本の種類も増え、今話題の小説などの本も入ってくるので次回はどのようない本が入つてくるのかと毎回楽しみにしています。最近では他館の本を取り寄せることができるようになります。最近では他館の本を取り寄せることができるようになるなど、ますます図書館を身近に感じるようになりました。これからもマナー良く、毎回図書館に行くのを楽しみにしながら図書館を利用させて頂きたいと思っています。

## 記後集編

### 図書館の新しい楽しみ方

今年も早や12月。世界中で、いろんな出来事がありました。あわただしく1年が過ぎ去る傾向が、年々強くなっている気がします。時事や流行を追うように、毎年、大量の本が出版されています。もともと、本を読む事が好きな私。家に居ながらでも、本の主人公その者になれたり、いろんな場所へ行つたような気分になります。だから本を読むと探検をしてる様な気分で、ページをめくればめくる程、夢が広がります。だからいつも、気が向いた時に自由に誰でも利用できる図書館は、子供にとても大人にとつても沢山学ぶ事が出来る良い場所です。

私は、大学生になつてすぐの頃です。レンガ造りの建物、個性的な児童コーナーなど小規模ながら非常に魅力にあふれ、以後、学生生活の一部として通い続けました。新刊コーナーや日当たりの良い雑誌コーナーにあるテーブルなど、通常ほどに愛着を感じるもののが一つ二つと増えていきました。晴れて社会人となれた今春、図書館は私を別の趣で迎えてくれました。

私にとって、これからも生活に潤いをもたらす場所としで利用していくつもりです。

## 京図ものがたり vol.8

平成16年12月発行

編集・発行 (財) 京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館  
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2  
TEL 075-802-3133  
<http://www.kyotocitylib.jp/>

本誌は資源の有効活用のため再生紙を使用しています